

別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

令和元年 8 月 3 0 日

木津川市議会議長 山本和延 様

会 派 名 れいわの会

会派代表者 幹事 森本 隆

議 員 名

調 査 期 日	令和元年 7 月 2 4 日 (水) ~ 令和元年 7 月 2 5 日 (木)
調 査 先	1 7 月 2 4 日 (水) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分 岩手県陸前高田市 ・防災センターの概要 (現地視察) 及び復興の取り組み研修 2 7 月 2 5 日 (木) 9 時 3 0 分 ~ 1 1 時 4 5 分 岩手県紫波町 ・オガールプロジェクトについて
参加者氏名	れいわの会視察研修 参加者 : 森本・倉・高岡・谷口・玉川・兎本・山本
調査項目等	別 紙 ① ②

れいわの会 会派研修報告

・参加メンバー

倉議員、山本和延議長、高岡議員、谷口議員、兎本議員、
玉川議員、森本隆議員

・日程

令和元年7月24日～7月25日

<研修内容>

岩手県陸前高田市 令和元年7月24日

東日本大震災復興状況と新防災センター視察に、陸前高田市を訪問した。

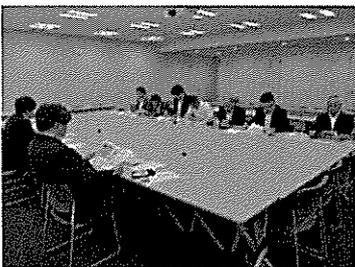
陸前高田市の現状は、震災前から人口減少と高齢化が進み、人口は約76%（24240→18567人）となっている。市の予算は、732億円（木津川市比 約2.6倍）と建設事業も含め、震災前の約6.5倍となっている。事業ベースで、約8割の復興状況であるが、課題も多く、復興計画を継続するまちづくり10年計画を進めている。

震災の教訓を活かして高台に新設された新防災センターは、消防本部と市役所機能が一体となった機能的な組織運営をしており、木津川市の今後の体制検討の参考になった。

★参考になった取り組み

- ①市内各所に災害監視カメラを設置し、防災センターから状況確認が可能。
- ②防潮堤の水門等は遠隔操作で操作可能。
- ③避難マニュアル、避難所運営マニュアルは、全国市町村のベースとなっている。
- ④防災マイスターを8カ月かけて育成し、地域リーダーとして活躍。
- ⑤災害対策拠点として、公民館等をベースに市内各所に地区本部を設置。

震災の教訓を活かして高台に新設された防災センターで研修



岩手県紫波町 令和元年7月25日

平成10年に購入した10.7haの町の所有地を活用することを計画したオガールプロジェクトの経過と成果について、研修を実施した。

紫波町は、人口33000人（木津川市比約0.4倍）、面積240km²（約2.8倍）128億円（約0.4倍）である。

町の塩漬けの土地（10.7ha、28.5億円で購入）を年間30万人集客する場所にするために「まちづくり」を計画、第3セクターを設置して推進。

★参考になった取り組み

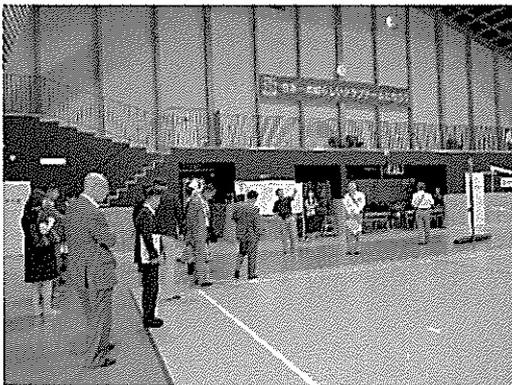
- ①まちづくりは、「不動産の価値の向上を目指すこと」を指標にした。
- ②市民とのワークショップ（40人）の意見を政策に反映
- ③官民複合施設（オガールプラザ）を建設し、図書館、産直施設を設置。
- ④第3セクターを中心に機能的、スピード感を持って実現した。

★成果

- ①年間集客人数 120万人（当初目標：30万人）
- ②雇用創出 224人
- ③フットボール場、バレーボール専用施設、宿泊施設、産直市場、保育所等を収支黒字で運営。

★★まとめ

民間資金を活用して、図書館、産直市場等々市民が望む施設を建設、運営する新しいまちづくりのプロセス等は、今後の木津川市のまちづくりプロセスに活かしていきたい。



別紙4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

令和2年2月24日

木津川市議会議長 山本 和延 様

会 派 名 れいわの会

会派代表者 森本 隆

議 員 名 森本 隆、倉 克伊、伊藤紀味枝、
山本和延、高岡伸行、谷口雄一、
兎本尚之、玉川実二

調査期日	令和2年2月12日(水)
調査先	調査先 大阪市都島区 友淵小学校 2月12日(水) 14時00分 ~ 16時00分 調査項目 ○友淵小学校の状況について
参加者氏名	れいわの会 視察研修 参加者 : 森本、倉、高岡、谷口、玉川、兎本、伊藤、山本
調査項目等	別 紙

令和2年 2月 24日

「過大規模校の学校運営」に関するれいわの会研修報告
(訪問日時：令和2年2月12日(水) 13:30～15:30)

れいわの会
森本 隆 (記)

1 研修目的

「過大規模小学校の学校運営の取り組み」について

2 出席者

大阪市立友渕小学校 伊藤浩史 校長

木津川市議会れいわの会 倉議員、山本和延議長、伊藤議員、高岡議員、谷口議員、
兔本議員、玉川議員、森本隆議員

3 大阪市立友渕小学校の概要

所在地 大阪市都島区、

学校運営方式 本校(3年～6年)と分校(1年～2年：本校より徒歩10分)で運営

児童数 約1600人

4 研修内容

○過大規模校運営の課題と対応

- ① 学校全体行事 : 始業式等はTV会議システムで放映
- ② プール、体育館の運営 : 本校、分校に2箇所設置
- ③ 運動会 : 競技種目を3つに絞って運営
- ④ 職員の育成 : 職員室を2つ設け、副校長をおいて、職員の育成指導が
やりやすいしくみで運営している。
- ⑤ その他課題 : 登下校時の校門付近の安全確保、
遠足・修学旅行等の移動手段、宿泊先等に工夫が必要

5 まとめ

全国でも有数の過大規模校である児童数1600人の友渕小学校を視察して、
過大規模校の課題と対応内容について研修した。今後、市内城山台小学校の急激な児童増か対応の
参考にしていきたい。



別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

令和 2 年 2 月 1 7 日

木津川市議会議長 山本 和延 様

会 派 名 　れいわの会
 会派代表者 　森本 隆
 議 員 名 　森本 隆、倉 克伊、伊藤紀味枝、
 　　　　　山本和延、高岡伸行、谷口雄一、
 　　　　　兎本尚之、玉川実二

調 査 期 日	令和 2 年 2 月 1 4 日 (金) ～ 令和 2 年 2 月 1 4 日 (金)
調 査 先	立命館小学校 「ICT 教育の取り組みについて」
参 加 者 氏 名	森本隆、高岡伸行、伊藤紀味枝、谷口雄一
調 査 項 目 等	別 紙

令和2年 2月 15日

「ICT教育の取り組み」に関するれいわの会研修報告

(訪問日時：令和2年2月14日(金) 13:30～15:30)

木津川市議会 れいわの会

森本 隆 (記)

1 研修目的

「ICT教育の取り組み」について

2 出席者

立命館小学校 後藤文男 学校長
鳥島裕之 教諭

木津川市議会れいわの会 伊藤議員、高岡議員、谷口議員、森本隆

3 立命館小学校の概要

所在地 京都市北区、2006年創立、一学年 120人、全校 720人
入学金 30万円、授業料 年間 100万円 (給食費は別途)

4 研修内容および質疑

1. 立命館小学校のICT取り組み

- ① 2006年普通教室にPC、プロジェクター設置
- ② 2012年タブレットPC、iPAD (1人1台)
- ③ 2014年 プログラミング、プレゼンテーション授業開始

2. 使用機材

- ・Surface Pro 4 (OS、Windows10) タブレット
- ・5、6年生全員が1人1台所有、各教科授業で活用
- ・デジタル教科書は未搭載
- ・費用 : 約10万円 (通信機能なし)
- ・使用ソフト: word、PowerPoint、他

3. 授業見学

- ①プレゼンテーション授業: パワーポイントを使った授業
- ②マイクラフトを使った授業:
創造力、課題解決力、コミュニケーションを醸成
- ③ロボテック授業: 設備見学
ペッパーくん10台保有 等々

<質疑応答>

Q：今後の取り組みは。

- ①3年生から1人1台所有、
ロボティクス科や学校教育で積極的に活用。
- ②A Iの利活用推進
・A Iを活用して、個別学習を充実。
- ③教員、P T AがI C Tを活用できる取り組みを推進していく。

5 まとめ

I C T教育の先進校である立命館小学校を訪問して、来年度から小学校に順次導入される1人1台のタブレット導入時の具体的な運用と課題を学ぶことができた。

I C T教育を推進するためには、機材、運用するソフト、教員の人材育成等が必要であり、今後も引き続き、会派として取り組んでいく必要があると感じた。

木津川市小中学校のI C T教育推進の取り組みにいかしていきたい。

